

～カンボジア・ミャンマーの子どもたちに安全な水を～
「イオン ユニセフ セーフウォーターキャンペーン」により
2,841万4,320円を贈呈

公益財団法人イオンワンパーセントクラブは、「イオン ユニセフ セーフウォーターキャンペーン」を通じた募金と、当財団からの拠出金および、イオントップバリュ株式会社からの寄付金を合わせた総額2,841万4,320円を公益財団法人日本ユニセフ協会へ贈呈しました。

2018年度の「イオン ユニセフ セーフウォーターキャンペーン」は、10月1日（月）から10月9日（火）と、10月22日（月）から11月11日（日）の2期間にわたり実施しました。イオングループ各社の協力のもと、全国の店舗や事業所約7,000カ所において募金活動を行った結果、お客さまからお寄せいただいた募金は1,333万9,826円にのぼりました。この募金に当財団からの拠出金、および、期間中にお買い上げいただいた「トップバリュ 国内で採水した天然水」（500ml）1本あたり5円の寄付金をイオントップバリュ株式会社が拠出し、総額2,841万4,320円を公益財団法人日本ユニセフ協会へ贈呈しました。これらの募金および寄付は、同協会を通じ、カンボジアとミャンマーにおいて給水施設の設置等に活用されます。

なお、贈呈式は、1月10日（木）にミャンマー連邦共和国大使館、1月11日（金）にカンボジア王国大使館において実施しました。

カンボジアやミャンマーの一部には、池・河川の不衛生な水や、人体に悪影響を及ぼす恐れのある物質を含む地下水が生活用水として使われている地域があり、また、遠方への水汲みに時間をとられて学校に行けない子どもたちがいます。当財団では、両国で学校建設支援を行っており、健康・教育の両面で子どもたちをサポートするため、本キャンペーンを2010年より毎年実施しています。給水施設の設置等により、累計52万4,000人※を超える人々が衛生的で安全な水を使えるようになりました。



給水施設の衛生的な水で手洗いをする子どもたち

当財団はこれからも本取り組みを通じ、次代を担う子どもたちの健全な育成に貢献してまいります。



カンボジア大使館での贈呈式



ミャンマー大使館での贈呈式

※カンボジア、ミャンマー、および2015年まで支援を行ったラオスを加えた3カ国における人数（2018年12月末時点）

【贈呈の概要】

1. 贈呈先：（公財）日本ユニセフ協会

2. 贈呈額：2,841万4,320円

*（公財）日本ユニセフ協会を通じて、ミャンマー・カンボジア2カ国での支援にお役立ていただきます。

[内訳]

- ① お客さまからの募金 1,333万9,826円
 - ②（公財）イオンワンパーセントクラブ拠出金 1,066万 174円
 - ③ イオントップバリュ（株）による寄付 441万4,320円
- *「トップバリュ 国内で採取した天然水」（500ml）の販売1本あたり5円を寄付

3. 贈呈式

[ミャンマー]

- ・日 時：1月10日（木）10：00～10：30
- ・場 所：ミャンマー連邦共和国大使館
- ・主な出席者：
駐日ミャンマー連邦共和国大使館 特命全権大使 トウレイン・タン・ズィン閣下
（公財）日本ユニセフ協会 専務理事 早水 研 様
（公財）イオンワンパーセントクラブ 理事長 横尾 博
イオントップバリュ（株）取締役管理本部長 森 真紀

[カンボジア]

- ・日 時：1月11日（金）15：00～15：30
- ・場 所：カンボジア王国大使館
- ・主な出席者：
駐日カンボジア王国大使館 特命全権大使 ウン・ラチャナ閣下
（公財）日本ユニセフ協会 専務理事 早水 研 様
（公財）イオンワンパーセントクラブ 理事長 横尾 博

公式アカウント

イオン1%クラブの活動をリアルタイムで紹介。



↑上のQRコードから友達追加

Q 1_percent_club で検索

Q 「AEON 1%」で検索

【ご参考】 公益財団法人イオンワンパーセントクラブの主な活動内容

◆次代を担う青少年の健全な育成に資する事業

<イオン チアーズクラブ>

地域の小中学生の環境保全活動を支援。毎年夏に全国大会を開催。

<中学生環境作文コンクール>

環境問題に関する作文を募集し、優秀な作文提出者は生物多様性研修に参加。

<AEON eco-1グランプリ>

全国の高校 及び高校生のエコ活動を顕彰し、エコ活動の輪の広がりを支援。

<学校建設支援>

アジア5カ国で子どもたちの教育環境の整備を支援。全国で実施した募金にほぼ同額を上乗せし、小学校校舎建設と附属設備の設置及び教員養成を支援。

<セーフウォーターキャンペーン>

学校建設を支援した地域で汚濁水を生活用水に使っている地域に、浄化した給水施設を設置することで子どもたちを健康面と教育面から支援。

【学校建設支援】



新校舎と子どもたち(カンボジア)



ミャンマー新校舎



新校舎で学ぶ子どもたち(ミャンマー)

◆諸外国との友好親善の促進に資する事業

<ティーンエイジ・アンバサダー>

海外と日本の高校生の相互交流活動。表敬活動、交流活動、歴史文化理解活動を通じ互いへの理解とグローバルな視野を持つことを支援。

<アジア ユースリーダーズ>

アジアの高校生・大学生が一堂に会し、開催地の社会問題への解決策を議論し政府へ提案することを通じ、各国の多様な価値観への理解を深めることを支援。

<イオン スカラシップ>

アジア各国で学ぶ大学生へ奨学金を給付し、次代を担う青年の夢の実現を支援。

【ティーンエイジ・アンバサダー】



首相官邸訪問



中国での授業体験



インドネシアで伝統舞踊体験

◆地域社会の持続的発展に資する事業

<ふるさと未来支援>

日本各地に伝わる固有の伝統的な文化・工芸・芸能の継承と普及を支援。

<災害復興支援>

大規模自然災害に見舞われた地域の人々を支援。

<公益法人への支援>

当財団の設立主旨に副う活動を行う公益法人を支援。

【ふるさと未来支援】



よさこい祭り



イオン ふるさと発見伝



イオン すくすくラボ

* 活動の詳細い内容はこちら (<https://www.aeon.info/1p/>) をご覧ください。